

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2024年7月22日まで（2007年7月27日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資法人であるKB Iエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の投資信託証券（クラスA）および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界（含む日本）の水関連企業の株式に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	三菱UFJグローバルエコ・ウォーター・ファンド	円建ての外国投資法人であるKB Iエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の投資信託証券（クラスA）および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を主要投資対象とします。
	KB Iエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA	世界（含む日本）の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
	日本短期債券マザーファンド	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

愛称：ブルーゴールド

第15期（決算日：2022年7月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド」は、去る7月22日に第15期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	MSCI ワールドインデックス (円換算ベース)	期騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
11期(2018年7月23日)	10,132	700	6.2	175.69	9.3	0.2	—	97.0	4,057
12期(2019年7月22日)	9,576	0	△ 5.5	175.40	△ 0.2	0.3	—	98.2	3,676
13期(2020年7月22日)	9,645	0	0.7	183.68	4.7	0.3	—	98.1	3,264
14期(2021年7月26日)	10,144	3,900	45.6	251.38	36.9	0.3	—	96.0	2,894
15期(2022年7月22日)	10,609	500	9.5	270.80	7.7	0.2	—	97.8	3,966

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。MSCI ワールド インデックス (円換算ベース) は、MSCI ワールド インデックス (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI ワールド インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI ワールド インデックス (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2021年 7 月26日	円	%		%	%	%	%
	10,144	—	251.38	—	0.3	—	96.0
7 月 末	10,410	2.6	250.41	△ 0.4	0.3	—	97.3
8 月 末	10,599	4.5	255.97	1.8	0.2	—	98.0
9 月 末	10,302	1.6	250.91	△ 0.2	0.3	—	97.8
10 月 末	10,791	6.4	267.51	6.4	0.3	—	97.6
11 月 末	10,788	6.3	265.75	5.7	0.3	—	97.4
12 月 末	11,086	9.3	276.18	9.9	0.2	—	93.1
2022年 1 月 末	10,250	1.0	256.82	2.2	0.2	—	98.8
2 月 末	10,167	0.2	254.89	1.4	0.3	—	98.2
3 月 末	10,879	7.2	280.53	11.6	0.2	—	98.3
4 月 末	10,648	5.0	267.78	6.5	0.2	—	98.3
5 月 末	10,690	5.4	267.12	6.3	0.2	—	98.2
6 月 末	10,650	5.0	260.45	3.6	0.2	—	98.1
(期 末) 2022年 7 月22日	11,109	9.5	270.80	7.7	0.2	—	97.8

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

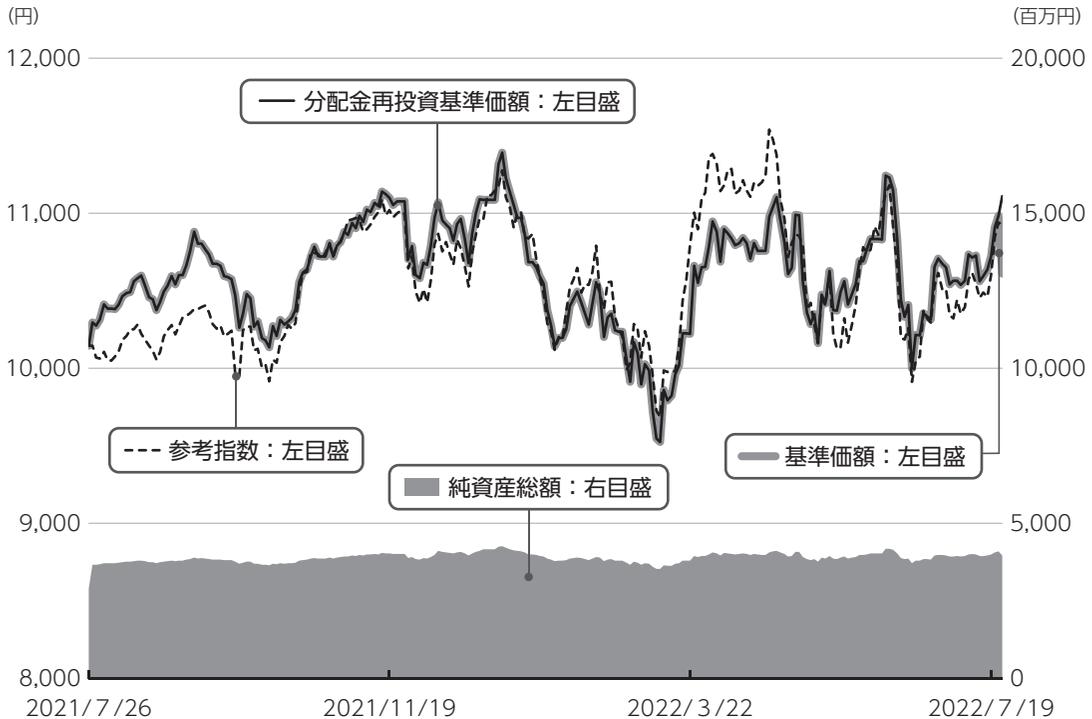
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第15期：2021年7月27日～2022年7月22日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第15期首	10,144円
第15期末	10,609円
既払分配金	500円
騰落率	9.5%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米ドルが円に対して上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

NORMA GROUP SE（ドイツ）、COWAY CO LTD（韓国）などの一部水関連企業の株価が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

▶ 株式市況

株式市況は下落しました。

期首から2021年12月にかけては新型コロナウイルスのワクチン接種進展に伴う経済正常化や良好な企業決算などを背景に上昇しました。

2022年1月から期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化を受けた資源価格の上昇などを受けて、インフレ長期化が懸念されたことや、各国の金融引き締めに対する懸念が高まったことに加えて、都市封鎖に起因する中国景気減速懸念が高まったことなどから下落しました。

▶ 為替市況

米ドルは円に対して上昇しました。

米国長期金利上昇による日米金利差拡大などを背景に米ドルは対円で上昇しました。

▶ 国内短期債券市況

国内短期金利は上昇、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は拡大しました。

国内短期金利は、日銀の強力な金融緩和政策を背景に、期首から2021年12月中旬にかけて横ばい圏で推移しました。その後期末にかけては海外金利の上昇や、日銀の政策変更に対する思惑などから上昇しました。

一般債の国債とのスプレッドは、新型コロナウイルス感染拡大による世界景気への懸念が後退したことや、日銀の社債オペなどを背景に、期首から2022年2月下旬にかけては縮小して推移しましたが、その後期末にかけてはウクライナ情勢などを背景に拡大し、期首との比較では、拡大して終わりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

アイルランド籍外国投資法人であるKBIEC・ウォーター・ファンド（ICAV）の円建外国投資証券への投資を通じて、世界（含む日本）の水関連企業の株式などを実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざした運用を行いました。また、日本短期債券マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ KBIEC・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA

成長見通しが明るいと思われる企業や、水関連の各分野で市場を牽引していくような企業への投資を継続しました。投資分野別では、「水関連装置」、「公益事業」、「水処理技術」の3つの分野を中心とした投資を継続しました。

▶ 日本短期債券マザーファンド 組入比率

期を通じて高位組み入れを維持しました。

債券種別構成

国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

日銀の金融緩和政策継続から中短期金利は低位で推移と想定し、デュレーションをベンチマーク（NOMURA-BPI短期）並みに調整しました。

残存期間構成

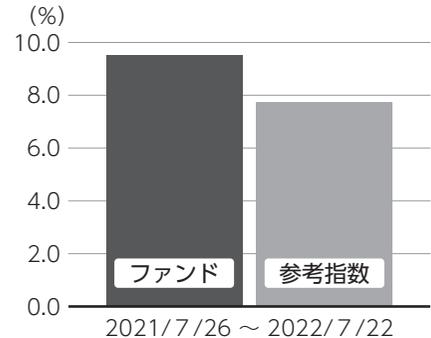
利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI ワールド インデックス（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項目	第15期 2021年7月27日～2022年7月22日
当期分配金（対基準価額比率）	500 (4.501%)
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,010

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

アイルランド籍外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の円建外国投資証券および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドに投資を行います。

▶ KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）－クラスA

世界的に水の使用量拡大が見込まれることなどを背景に、水関連市場における需要は引き続き強いと考えています。特に、水インフラ関連への設備投資は、各国の政策や農業関連の需要などを背景に、今後グローバルに増加するとみられ、良好な投資環境が継続すると考えています。バリュエーションを重視しつつ、独自のテーマに基づき今後の業績拡大が期待できる企業に注目します。加えて、財務改善策や事業再編への取り組みにも注目し、銘柄選別を実施する方針です。

▶ 日本短期債券マザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

国内景気は新型コロナウイルス感染症や資源価格の上昇の影響などから一部に弱めの動きも見られますが、基調としては持ち直しています。輸出・生産は、基調として増加を続けており、個人消費も感染症の影響が和らぐもとの、サービス消費を中心に持ち直しています。しかしながら、雇用・所得環境は全体としてはなお弱めとなっていることや企業の業況感の改善が一服しているなど懸念材料も多く、地政学リスクや資源価格の問題もあり景気の先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内金利は、為替動向や海外金利動向を睨みながら引き続き神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについては日銀の社債買入オペなどを背景に横ばい圏での推移になるものと思われます。

こうしたなか、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、国債対比で利回りの高い一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。

2021年7月27日～2022年7月22日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	115	1.088	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(29)	(0.272)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(81)	(0.762)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	115	1.091	

期中の平均基準価額は、10,601円です。

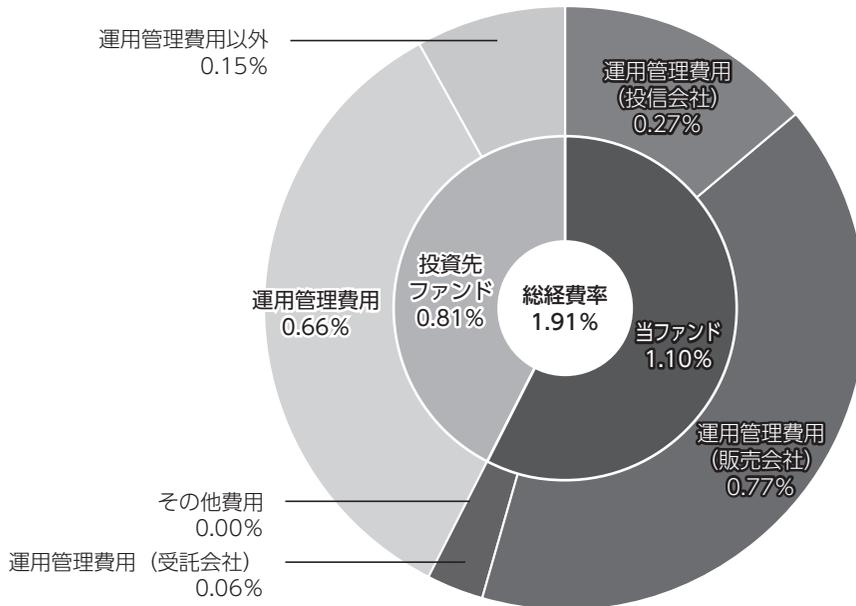
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.91%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.91
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.66
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.15

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年7月22日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	KBIエコ・ウォーター・ファンド(ICA)ークラスA	千口 49	千円 1,146,986	千口 18	千円 434,574

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年7月22日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド>

該当事項はございません。

<日本短期債券マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人の発行する有価証券等

<日本短期債券マザーファンド>

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 101	百万円 —	百万円 201

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

<日本短期債券マザーファンド>

種 類	買 付 額
公社債	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコムです。

○組入資産の明細

(2022年7月22日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
KB Iエコ・ウォーター・ファンド(ICA V)ークラスA	千口 125	千口 156	千円 3,879,231	% 97.8
合 計	125	156	3,879,231	97.8

(注) 比率は三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンドの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
日本短期債券マザーファンド	千口 8,887	千口 8,887	千円 9,996	千円 9,996

○投資信託財産の構成

(2022年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 3,879,231	% 92.9
日本短期債券マザーファンド	9,996	0.2
コール・ローン等、その他	287,362	6.9
投資信託財産総額	4,176,589	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,176,589,099
コール・ローン等	287,360,825
投資証券(評価額)	3,879,231,988
日本短期債券マザーファンド(評価額)	9,996,286
(B) 負債	209,895,759
未払収益分配金	186,956,207
未払解約金	2,097,010
未払信託報酬	20,788,483
未払利息	70
その他未払費用	53,989
(C) 純資産総額(A-B)	3,966,693,340
元本	3,739,124,140
次期繰越損益金	227,569,200
(D) 受益権総口数	3,739,124,140口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,609円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,853,475,517円
 期中追加設定元本額 1,095,633,258円
 期中一部解約元本額 209,984,635円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0609円です。

②分配金の計算過程

項 目	2021年7月27日～ 2022年7月22日
費用控除後の配当等収益額	11,325円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	337,574,662円
収益調整金額	114,642,896円
分配準備積立金額	112,725,474円
当ファンドの分配対象収益額	564,954,357円
1万口当たり収益分配対象額	1,510円
1万口当たり分配金額	500円
収益分配金金額	186,956,207円

○損益の状況 (2021年7月27日～2022年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,249
受取利息	285
支払利息	△ 18,534
(B) 有価証券売買損益	380,043,059
売買益	389,510,988
売買損	△ 9,467,929
(C) 信託報酬等	△ 42,438,823
(D) 当期損益金(A+B+C)	337,585,987
(E) 前期繰越損益金	112,725,474
(F) 追加信託差損益金	△ 35,786,054
(配当等相当額)	(114,642,591)
(売買損益相当額)	(△150,428,645)
(G) 計(D+E+F)	414,525,407
(H) 収益分配金	△186,956,207
次期繰越損益金(G+H)	227,569,200
追加信託差損益金	△ 35,786,054
(配当等相当額)	(114,642,896)
(売買損益相当額)	(△150,428,950)
分配準備積立金	263,355,254

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	500円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2022年7月22日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA

決算日 2022年2月28日

[計算期間：2021年3月1日～2022年2月28日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	アイランド籍・外国投資法人
ファンドの目的	世界（含む日本）の水関連企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	世界（日本を含む）の水関連企業の株式
設定日	2019年10月23日
決算日	原則として2月28日
投資運用会社	KBIグローバル・インベスターズ・リミテッド
信託報酬等	年0.7%以内（運用報酬：年0.62%、管理報酬：年0.08%以内） その他、外国投資信託証券の監査報酬、資産を外国で保管する費用等がかかります。
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。なお、開示情報につきましては、「KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）」で掲載しています。

1. 損益計算書

(2022年2月28日に終了する期間)

	日本円
収益	
運用収益	85,310,613
金融資産の純損益	585,055,871
投資損益合計	670,366,484
運用費用	(32,124,869)
費用控除前純損益	638,241,615
税引前損益	638,241,615
キャピタルゲイン税	326
源泉徴収税	(6,808,670)
税引後損益	631,433,271
純資産の増減	
ユニットの保有者に帰属する純資産の増減	631,433,271

2. 投資明細書
 2022年2月28日時点

	保有	フェア・バリューによる金融資産増益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
		Equities: 97.84% (2021: 99.14%)		
		Austria: 1.93% (2021: 1.94%)		
		Machinery-Diversified: 1.93% (2021: 1.94%)		
13,636	Andritz		70,666,454	1.93
	Total Austria		70,666,454	1.93
		Bermuda: 2.82% (2021: 2.74%)		
		Environmental Control: 1.61% (2021: 1.41%)		
465,636	China Water Affairs		59,129,379	1.61
	Water: 1.21% (2021: 1.33%)			
974,000	Beijing Enterprises Water		44,291,013	1.21
	Total Bermuda		103,420,392	2.82
		Brazil: 1.84% (2021: 2.11%)		
		Water: 1.84% (2021: 2.11%)		
40,570	Cia de Saneamento Basico do Estado de Sao Paulo		37,451,288	1.02
94,700	Cia Saneamento Minas Gerais		29,989,845	0.82
	Total Brazil		67,441,133	1.84
		Canada: 1.36% (2021: 1.60%)		
		Engineering & Construction: 1.36% (2021: 1.35%)		
8,713	Stantec		49,798,190	1.36
	Miscellaneous Manufacturing: 0.00% (2021: 0.25%)			
	Total Canada		49,798,190	1.36
		Cayman Islands: 0.34% (2021: 0.49%)		
		Water: 0.34% (2021: 0.49%)		
11,055	Consolidated Water		12,490,677	0.34
	Total Cayman Islands		12,490,677	0.34
		France: 6.37% (2021: 10.15%)		
		Water: 6.37% (2021: 10.15%)		
57,763	Veolia Environnement		233,664,632	6.37
	Total France		233,664,632	6.37

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	Germany: 1.52% (2021: 2.03%)		
	Metal Fabricate/Hardware: 1.52% (2021: 2.03%)		
13,862	Norma Group	55,734,263	1.52
	Total Germany	55,734,263	1.52
	Hong Kong: 2.53% (2021: 3.27%)		
	Environmental Control: 1.07% (2021: 1.31%)		
474,500	China Everbright International	39,202,460	1.07
	Water: 1.46% (2021: 1.96%)		
346,000	Guangdong Investment	53,499,913	1.46
	Total Hong Kong	92,702,373	2.53
	India: 0.58% (2021: 0.60%)		
	Engineering & Construction: 0.58% (2021: 0.60%)		
46,141	VA Tech Wabag	21,227,889	0.58
	Total India	21,227,889	0.58
	Ireland: 2.80% (2021: 3.95%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 2.80% (2021: 3.95%)		
15,389	Pentair	102,614,724	2.80
	Total Ireland	102,614,724	2.80
	Japan: 2.24% (2021: 3.39%)		
	Environmental Control: 2.24% (2021: 3.39%)		
17,500	Kurita Water Industries	82,206,250	2.24
	Total Japan	82,206,250	2.24
	Jersey: 2.40% (2021: 2.48%)		
	Distribution/Wholesale: 2.40% (2021: 2.48%)		
4,993	Ferguson	88,058,686	2.40
	Total Jersey	88,058,686	2.40

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	Mexico: 1.92% (2021: 2.48%)		
	Chemicals: 1.92% (2021: 2.48%)		
239,000	Orbia Advance	70,391,612	1.92
	Total Mexico	70,391,612	1.92
	Netherlands: 2.87% (2021: 3.55%)		
	Engineering & Construction: 1.00% (2021: 1.11%)		
6,987	Arcadis	36,760,404	1.00
	Miscellaneous Manufacturing: 1.87% (2021: 2.44%)		
10,649	Aalberts Industries	68,453,110	1.87
	Total Netherlands	105,213,514	2.87
	Philippines: 0.00% (2021: 0.31%)		
	Water: 0.00% (2021: 0.31%)		
	Total Philippines	-	-
	Republic of South Korea: 2.95% (2021: 2.66%)		
	Home Furnishings: 2.95% (2021: 2.66%)		
15,685	Woongjin Coway	108,179,341	2.95
	Total Republic of South Korea	108,179,341	2.95
	Singapore: 0.31% (2021: 0.36%)		
	Environmental Control: 0.31% (2021: 0.36%)		
564,300	SIIC Environment	11,270,699	0.31
	Total Singapore	11,270,699	0.31
	Sweden: 1.59% (2021: 1.74%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 1.59% (2021: 1.74%)		
15,476	Alfa Laval	58,289,999	1.59
	Total Sweden	58,289,999	1.59
	United Kingdom: 13.37% (2021: 11.96%)		
	Engineering & Construction: 2.75% (2021: 2.45%)		
226,793	Costain	15,385,939	0.42
82,244	HomeServe	85,567,812	2.33

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)		
	United Kingdom: 13.37% (2021: 11.96%) (Continued)		
	Machinery-Construction & Mining: 1.17% (2021: 0.00%)		
17,460	Weir Group	42,692,264	1.17
	Water: 9.45% (2021: 9.51%)		
47,980	Pennon Group GBX	77,075,185	2.10
14,372	Severn Trent	63,809,108	1.74
123,820	United Utilities	205,554,032	5.61
	Total United Kingdom	490,084,340	13.37
	United States: 48.10% (2021: 41.33%)		
	Building Materials: 5.11% (2021: 5.14%)		
9,882	Fortune Brands Home & Security	98,888,975	2.70
13,716	Masco	88,520,748	2.41
	Commercial Services: 2.81% (2021: 2.05%)		
5,081	Ecolab	103,066,159	2.81
	Distribution/Wholesale: 2.34% (2021: 0.00%)		
33,144	Core & Main	85,795,170	2.34
	Electronics: 2.08% (2021: 3.00%)		
5,090	Agilent Technologies	76,395,963	2.08
	Engineering & Construction: 3.16% (2021: 2.56%)		
11,542	AECOM	96,597,207	2.64
5,489	Granite Construction	19,133,400	0.52
	Environmental Control: 2.43% (2021: 1.25%)		
6,493	Evoqua Water Technologies	31,898,744	0.87
3,123	Tetra Tech	57,088,441	1.56
	Healthcare-Products: 4.65% (2021: 2.84%)		
5,399	Danaher	170,633,214	4.65
	Housewares: 0.50% (2021: 1.65%)		
1,709	Toro	18,458,116	0.50
	Machinery-Diversified: 8.10% (2021: 7.39%)		
2,551	Ilex	56,345,687	1.54
2,425	Lindsay	36,648,268	1.00
2,613	Roper Technologies	134,957,534	3.68
6,714	Xylem	68,745,032	1.88
	Metal Fabricate/Hardware: 4.77% (2021: 6.85%)		
4,819	Advanced Drainage Systems	64,771,806	1.77
36,888	Mueller Water Products	53,850,693	1.47
2,248	Valmont Industries	56,012,030	1.53

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
Equities: 97.84% (2021: 99.14%) (Continued)			
United States: 48.10% (2021: 41.33%) (Continued)			
Miscellaneous Manufacturing: 2.31% (2021: 2.41%)			
5,565	Ao Smith	43,946,660	1.20
7,001	SPX	40,861,289	1.11
Water: 9.84% (2021: 6.19%)			
4,932	American Water Works	85,788,709	2.34
5,483	California Water Service	35,967,341	0.98
28,832	Essential Utilities	156,622,023	4.27
4,182	SJW	31,394,719	0.86
36,808	Vidler Water Resources	51,020,714	1.39
Total United States		1,763,408,642	48.10
Total Equities		3,586,863,810	97.84
Total Financial assets at fair value through profit or loss		3,586,863,810	97.84
Total Value of Investments		3,586,863,810	97.84
Cash*		83,532,000	2.28
Other Net Liabilities		(4,485,819)	(0.12)
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares		3,665,909,991	100.00

* All cash holdings are held with Northern Trust Fiduciary Services (Ireland) Limited.

日本短期債券マザーファンド

《第24期》決算日2022年7月22日

[計算期間：2021年7月27日～2022年7月22日]

「日本短期債券マザーファンド」は、7月22日に第24期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第24期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
20期(2018年7月23日)	11,202	0.2	235.65	△0.1	97.6	—	2,061
21期(2019年7月22日)	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—	1,840
22期(2020年7月22日)	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—	1,713
23期(2021年7月26日)	11,247	0.3	234.87	△0.1	97.3	—	1,703
24期(2022年7月22日)	11,248	0.0	234.59	△0.1	93.9	—	1,601

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 短 期		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落	率	騰 落	率		
(期 首) 2021年7月26日	円	%		%	%	%
	11,247	—	234.87	—	97.3	—
7月末	11,247	0.0	234.85	△0.0	93.0	—
8月末	11,248	0.0	234.82	△0.0	94.3	—
9月末	11,246	△0.0	234.74	△0.1	93.9	—
10月末	11,245	△0.0	234.68	△0.1	98.1	—
11月末	11,253	0.1	234.75	△0.0	98.2	—
12月末	11,249	0.0	234.61	△0.1	93.5	—
2022年1月末	11,244	△0.0	234.46	△0.2	93.2	—
2月末	11,240	△0.1	234.37	△0.2	96.9	—
3月末	11,238	△0.1	234.39	△0.2	97.8	—
4月末	11,244	△0.0	234.48	△0.2	96.3	—
5月末	11,244	△0.0	234.50	△0.2	91.7	—
6月末	11,240	△0.1	234.50	△0.2	92.0	—
(期 末) 2022年7月22日	11,248	0.0	234.59	△0.1	93.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

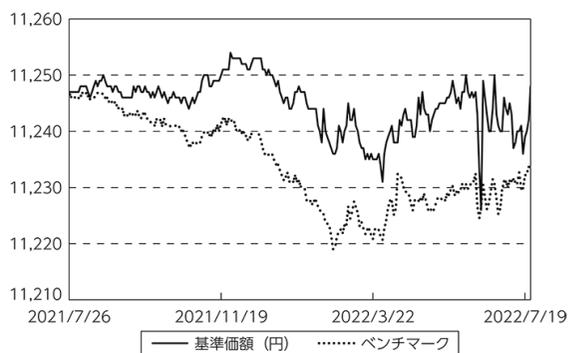
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%上昇しました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマーク(NOMURA－BPI短期)の騰落率(－0.1%)を0.1%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益を獲得したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境について

◎ 国内短期債券市場

- ・国内短期金利は上昇、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は拡大しました。
- ・国内短期金利は、日銀の強力な金融緩和政策を背景に、期首から2021年12月中旬にかけて横ばい圏で推移しました。その後期末にかけては海外金利の上昇や、日銀の政策変更に対する思惑などから上昇しました。
- ・一般債の国債とのスプレッドは、新型コロナウイルス感染拡大による世界景気への懸念が後退したことや、日銀の社債オペなどを背景に、期首から2022年2月下旬にかけては縮小して推移しましたが、その後期末にかけてはウクライナ情勢などを背景に拡大し、期首との比較では、拡大して終わりました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

◎ 組入比率

- ・期を通じて高位組み入れを維持しました。

◎ 債券種別構成

- ・国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

◎ デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・日銀の金融緩和政策継続から中短期金利は低位で推移と想定し、デュレーションをベンチマーク並みに調整しました。

◎ 残存期間構成

- ・利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-0.1%）を0.1%上回りました。

(プラス要因)

◎ 債券種別構成

- ・短期ゾーンの国内金利がマイナス圏で推移するなか、プラス利回りの一般債をベンチマーク対比でオーバーウェイトとしていたこと。

○ 今後の運用方針

- ・安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。
- ・国内景気は新型コロナウイルス感染症や資源価格の上昇の影響などから一部に弱めの動きも見られますが、基調としては持ち直しています。輸出・生産は、基調として増加を続けており、個人消費も感染症の影響が和らぐもとで、サービス消費を中心に持ち直しています。しかしながら、雇用・所得環境は全体としてはなお弱めとなっていることや企業の業況感の改善が一服しているなど懸念材料も多く、地政学リスクや資源価格の問題もあり景気の先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内金利は、為替動向や海外金利動向を睨みながら引き続き神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについては日銀の社債買入オペなどを背景に横ばい圏での推移になるものと思われます。
- ・こうしたなか、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、国債対比で利回りの高い一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月27日～2022年7月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年7月22日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 —	千円 55,035
	社債券	606,474	399,952 (300,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年7月22日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	606	—	—	454	33	7.3

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 101	百万円 —	百万円 201

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種類	買付額
公社債	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコムです。

○組入資産の明細

(2022年7月22日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券	1,500,000 (1,500,000)	1,503,914 (1,503,914)	93.9 (93.9)	— (—)	6.2 (6.2)	50.3 (50.3)	37.5 (37.5)
合 計	1,500,000 (1,500,000)	1,503,914 (1,503,914)	93.9 (93.9)	— (—)	6.2 (6.2)	50.3 (50.3)	37.5 (37.5)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第1回関西電力利払繰延・期限前償還条項・劣後特約付	0.896	100,000	99,262	2082/3/20
第14回セブン&アイ・ホールディングス	0.19	100,000	99,877	2025/12/19
第15回Zホールディングス	0.35	100,000	100,071	2023/6/9
第15回楽天グループ	0.5	100,000	99,606	2024/12/2
第67回神戸製鋼所	0.2	100,000	99,835	2026/6/10
第46回IHI	0.22	100,000	100,014	2023/9/1
第1回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	99,975	2024/8/2
第37回丸井グループ	0.12	100,000	99,875	2023/12/1
第29回SBIホールディングス	1.0	100,000	100,149	2025/7/22
第75回アコム	0.309	100,000	100,068	2023/2/28
第32回三菱UFJリース	0.695	100,000	101,045	2024/10/25
第27回野村ホールディングス	2.107	100,000	105,523	2025/9/24
第5回ソフトバンク	0.1	100,000	99,879	2023/7/28
第35回フランス相互信用連合銀行	0.279	100,000	98,820	2026/10/21
第6回マラヤン・バンキング	0.224	100,000	99,915	2023/2/13
合 計		1,500,000	1,503,914	

○投資信託財産の構成

(2022年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,503,914	93.9
コール・ローン等、その他	98,107	6.1
投資信託財産総額	1,602,021	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,602,021,303
コール・ローン等	96,054,920
公社債(評価額)	1,503,914,000
未収利息	1,476,209
前払費用	576,174
(B) 負債	494,394
未払解約金	494,371
未払利息	23
(C) 純資産総額(A-B)	1,601,526,909
元本	1,423,884,307
次期繰越損益金	177,642,602
(D) 受益権総口数	1,423,884,307口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,248円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,514,616,498円
 期中追加設定元本額 179,670,750円
 期中一部解約元本額 270,402,941円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,248円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
- | | |
|---------------------------|----------------|
| 三菱UFJ 積立ファンド(日本バランス型) | 1,072,081,123円 |
| 三菱UFJ 国内バランス20 | 221,075,648円 |
| 日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定) | 104,630,836円 |
| 日本短期債券ファンドVA(適格機関投資家限定) | 17,209,532円 |
| 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド | 8,887,168円 |
| 合計 | 1,423,884,307円 |

○損益の状況 (2021年7月27日～2022年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,004,767
受取利息	5,021,564
支払利息	△ 16,797
(B) 有価証券売買損益	△ 4,972,800
売買益	533,000
売買損	△ 5,505,800
(C) 当期損益金(A+B)	31,967
(D) 前期繰越損益金	188,921,952
(E) 追加信託差損益金	22,367,631
(F) 解約差損益金	△ 33,678,948
(G) 計(C+D+E+F)	177,642,602
次期繰越損益金(G)	177,642,602

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。